

山崎望編『民主主義に未来はあるのか？』 (法政大学出版局、2022年)出版記念 オンライン合評会

2022年12月27日(火) 13:00~15:30

(延長の場合も16時には終了予定) 開催形態:Zoomのミーティング

【討論者】

宇野重規 (東京大学)
中田瑞穂 (明治学院大学)
遠藤知子 (大阪大学)

【執筆者】

山崎望 (駒澤大学)
早川誠 (立正大学)
森政稔 (東京大学)
小川有美 (立教大学)
松尾隆佑 (宮崎大学)
内田智 (早稲田大学)
板橋拓己 (東京大学)
大竹弘二 (南山大学)
山本圭 (立命館大学)
富永京子 (立命館大学)

【司会者】

山崎望 (駒澤大学)
加藤雅俊 (立命館大学)

【問い合わせ先】

加藤雅俊 (立命館大学)

✉ mkato@fc.ritsumeai.ac.jp



事前登録制

事前登録制(参加をご希望の方は、12月25日(日)の17時までに、以下のリンク先もしくはQRコード先からお申し込みください。研究会前日の13時頃までに、Zoomのミーティンググループのリンク先を送付します)

<https://forms.office.com/r/yLux89UZAm>



民主主義諸国ではポピュリズムが台頭する一方で、非民主主義諸国では権威主義化の傾向が見られるなど、現代社会は民主主義に対する不信感や不満で溢れている。第二次世界大戦後の繁栄と安定を築くだけでなく、一定の公正をも生み出してきた自由民主主義は、どのような制度的・理論的な特徴を有し、またどのような点に問題があったのか。そして、新しい時代の諸課題に対応するためには、どのような民主主義が求められているのか。『民主主義に未来はあるのか?』は、これらの社会的にも学術的にも重要な問いに対して、政治理論、政治思想史、比較政治学、社会運動論の各領域で活躍する研究者が多角的に取り組む好著である。

本オンライン合評会では、本書の意義や貢献を明らかにするために、日本の政治学を牽引する宇野重規先生、中田瑞穂先生、遠藤知子先生からコメントをいただき、執筆者の先生方から応答いただく。その後、質疑応答に移り、登壇者および参加者と「民主主義の可能性と課題」について検討していきたい。

本合評会が、現代政治を理解し、「民主主義の可能性と課題」について考える機会になれば幸いである。

【共催】

- 立命館大学人文科学研究所・重点プログラム「グローバル化と地域の多様性(diversity)」
- 科学研究費・基盤研究(A)「資本主義と民主主義の両立(不)可能性の政治理論的研究」(研究代表者:田村哲樹)
- 科学研究費・基盤研究(B)「家族主義レジーム」の変容に関する国際比較研究—家族政策の多様化とその因果的背景」(研究代表者:加藤雅俊)
- 科学研究費・基盤研究(C)「ポスト代表制」時代の民主主義—新たなコンステレーションの模索」(研究代表者:山崎望)
- 科学研究費・基盤研究(C)「自由民主主義の危機とデモスの再検討—哲学とフェミニズムの導入による学際的研究」



立命館大学
人文科学研究所
INSTITUTE OF HUMANITIES,
HUMAN AND SOCIAL SCIENCES